蒲田	大門車庫乗務員	一五	矢口町小林二七二 川名塾	二	異状ナシ
尾久	浜松町軌工部員	九八	尾久町上尾久一一八四 空家	三	〃
富坂	大塚自動車車庫乗務員	一〇〇	小石川区指ケ谷町 岩〇淨寺	一一	〃
		二八	〃 諏訪町三七	四	〃
田無	新網、白金、常盤、下谷、下谷本郷、御成門 各変電所（市電協同会員）	一〇〇	武蔵野町境、境会館	一五	〃
高田	早稲田車庫乗務員（二組）	五〇	高田町高田三七三 下山秋三方	一	
	〃（四組）	五〇	〃 三四 桂和一郎方	一	〃
計		一、四八七			

別紙（四）

争議團の全従業員諸君に訴ふ！

大正九年のストライキ以来團二の会けらた漢鉄及市区運動に依って吾々市電従業員の地位と社会的に認められ生活の程度も高められて来たけれども だが決して電気局が宣伝する様な他の労働者や俸給生活者に比べて収入が多いわけではないが 而も争議として諸君が共に経験してゐる様に他の勤人のやうに朝出明の退出とは勤務状態が全然異ってゐます まだ夜も明けきらぬ午前三、四時に暁の星を戴いて出勤中の快よい眠りに人達が落ち入ってゐる一時二時に自宅に帰へって勤務の割金によっては二日も三日も可愛い子供達と口を聞くことの出来ない様な状態におかれてゐるのが吾々従業員の日常生活の有様です 更に出勤してからの吾々の労働は一日十時間も十一時間も殊に婦人の場合に於ては月一回に休養も与へられず一日中車に乗られて不潔な市中をかけ廻るのが吾々の日課です 吾々従業員の神明から帰結腹や胃腸病患者の續出するは如何に吾々が電気局から苛酷な労働を強要されてゐるかと云ふことをハッキリ判らせる これが故人達の捨てられた労働の代償として吾々が過去に於ける様に犠牲を払って獲得した労働条件を最近電気局は吾々の手からもぎ取らうとしてゐるのです 今や従業支給してゐた賞与の内から今後は一割天引して支給し様としたり 更に二十年も働き続けた電気局のためにしかし退職後の生活を脅かすために局当局は自分の懐を肥して自他田畑を買って老後を送る資本に仕様と唯一の望みをかけてゐた退職一時金制度を廃止して十年でも二十年でも気永に勤めて仕払って貯かうとして 退職制度と云ふものを実施しようとしてゐるのです 退職手当や賞与の自給四十五自分支給は従来電気局の猶豫の上に決めたものです それを今度の寛局長は自分は年俸一万五千円も